

今日のみ言葉 235 「希望は失望に終わらず」 2014. 2. 1

希望は失望に終わることがない。

なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからである。（ローマ5の5）

Hope does not disappoint us, because God has poured out his love into our hearts by the Holy Spirit, whom he has given us.

希望は失望に終わる。これは政治的、社会的な問題において特にそうである。また人間に関してもしばしばである。民主党が長年の自民党独裁を打ち破って新たな時代が到来するという希望は、わずか数年で打ち破られて大いなる失望に終わった。原発は、未来の明るいエネルギー、絶対安全という希望、確信は無惨にも打ち砕かれた。

そして沖縄問題においても普天間基地の県外移設をという政治家の約束によって生じた希望は失われ、さらに県知事や政治家も基地の県外移設を主張し続けると、県民に希望を持たせたが、それらも権力や莫大なお金を提供するという約束によって簡単に消え失せた。

この不信と混乱の世にあって、失望に終わらない希望など存在するのか、それは希望の根源である神を信じるのでなければあり得ない。

地球や太陽そのものが最終的には消え失せるという科学的な未来像だけを見ても、そのどこに希望が存在できるであろうか。

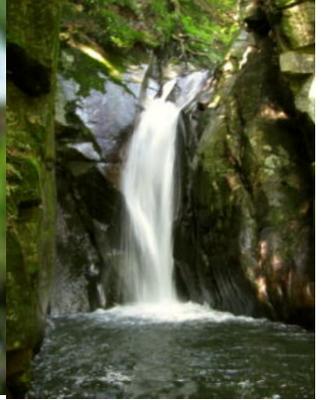
いかなるこうした現実の問題や科学の提示することを越えて、希望を持つことができるのは、その科学の法則それ自体を創造された神を信じること以外にはない。

この聖書の言葉では、そうした揺るがない希望は、思索や経験、学識などによるのではなく、神の愛によって確信に導かれるという。そしてその愛は、聖霊によって注がれるのだと言われている。

別のところでも、「聖霊の実は、愛、喜び、平和…」（ガラテヤ書5の22）と言われている通りである。神の愛は、すべてに勝つ。不信と疑いという暗闇に勝利して、失望に終わることのない希望を与えるのは、神の愛なのである。

そしてそのような神の愛は、表面だけを見る場合には、どこにもないように見える。だからこそ、大多数の日本人は神を信じないし、神の愛などをまったく求めようともしない。

しかし、信じて求め続けていく者には、必ず聖霊が与えられ、その実として神の愛も与えられると約束されていて、過去2千年の歴史を通じて無数の人々がその愛によって実際に生きる力を与えられ、導かれてきたのである。



このイワタバコは、右に添えてある滝の近くの岩肌に自生していたもの。恵那市串原という山中にあるハム工房ゴーバルでの聖書集会の帰途に、溪谷沿いの植物を調べていたら、一般の人が近づかないようなところにあるのをがみつけたのです。これは、その葉がタバコの葉に似ているからその名があります。赤紫色の美しい花を咲かせ、湿った岸壁のようなところに育ちます。

花茎は10cmほど、葉は長さ10～50cmほどで、根元から出ます。若葉は食用になるとのことです。本州、四国、九州と広く分布しており、徳島県の山々でも滝などの近くにはよく見かけます。あまり日が当たらなくともこのように、みずみずしい葉と花をもって私たちの目を引きつけるのです。

こうした溪谷沿いの植物は概して日があまり当たらないので、目立つような花は多くなく、ほかにはダイモンジソウ、ジンジソウといったユキノシタ科の白い地味な花をつけるものがあります。

アルプスなど中部地方や、東北、北海道の高山に咲く、コマクサは、ほかの植物が育たないような高い山の砂礫の中という厳しい環境に生育して、美しい花を咲かせますが、このイワタバコは対照的に、水のしぶきがかかるような湿ったところです。まったく異なる環境において、このような美しい花が創造されている不思議に驚かされます。

(写真・文ともT.Yoshimura)

